

## 胃がん ESD 後外科的追加切除症例の臨床病理学的研究

### 研究対象：

当院にて胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を受けた後に非治癒切除と診断され、2005年1月から2016年3月までのあいだに外科的追加切除を受けた患者さんを対象とします。

### 研究の概要・意義：

現在、2cm以下の粘膜内にとどまる早期胃がんに対する ESD は、胃がん治療ガイドラインにおいて推奨されており実地臨床でも広く行われている治療法です。ESD による治療で胃がんを根治できたと判断するためには、「腫瘍の残存」と「リンパ節転移の可能性」無いことが必須条件であるため、最終病理診断にてその可能性が疑われた患者さんに対しては外科的追加切除を行う事が推奨されています。現在、ESD 後に外科的追加切除を行った患者さんで、どのような人に実際リンパ節転移が見られたのかという点に関して一定の見解は得られておらず、多くの治療経験がある当院での成績を検討し発表する事は意義のあることと考えています。

### 目的：

本研究は、胃がんに対する ESD 後に外科的追加切除を施行した症例の臨床病理学的特徴を解析し、その特徴を明らかにすることを目的としています。

### 方法：

国立がん研究センター東病院胃外科(2013年以前は上腹部外科)にて ESD 後に外科的追加切除を行った患者さんを対象とします。過去のカルテから、ESD 後の病理所見ならびに追加切除後の病理所見に関するデータを収集し、どの様な患者さんで腫瘍の残存もしくはリンパ節転移があったのかを検討します。

### 個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用に別途割り振られた研究番号を用いて管理し、個人情報が出院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

### 照会先および研究での利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 胃外科 砂川 秀樹  
FAX 04-7131-4724 / TEL 04-7133-1111